

高等学校商業科採点基準

3枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点
1	1 年齢や障がいの有無などにかかわらず、できるだけ多くの人が利用可能であるデザイン。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	5
	2 過去のモデルやサイズ不ぞろいなど、従来の販売店では販売ができない商品。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	5
	3 環境保護や労働問題の改善のため、トラック輸送から船舶・鉄道などへ輸送手段を変更しようという取組。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	5
	4 革新的な技術やビジネスモデルを持った創業間もない中小企業であるベンチャー企業に対して投資を行うことを業務とする企業。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	5
	5 (1) 11,256,128 [円] (2) 3,260,000 [円] (3) 6,455,403 [円] (4) 955,835 [円] (5) 95,340,000 [円]		各 5 × 5
2	1 <ul style="list-style-type: none"> ・実際のビジネスを俯瞰する中で、ビジネスに関する知識と技術のみならず、様々な教科・科目等で身に付けた知識、技術などを活用し、ビジネスに関する具体的な事例について多面的・多角的に分析し、考察や討論を行う学習活動。 ・具体的なビジネスの場面を想定し、ビジネスを担う当事者としての意識を高め、経済や市場の動向、ビジネスに関する理論やデータ、ビジネスに関する成功事例や改善を要する事例などについて、科学的な根拠に基づいて多面的・多角的に分析し、考察や討論を行い、課題の解決策を考案し、評価・改善する学習活動。 ・地域の資源を活用した商品開発、地域産業の振興策や情報技術を活用した合理的なビジネスを展開する方策の考案・提案と評価・改善、商標やパッケージデザインの考案と評価・改善、ビジネスに関するウェブページの制作などを行う学習活動。 ・模擬的な企業経営や取引先の開拓など実際のビジネスに即した体験の中で発生する様々な課題に対して試行錯誤しながら課題を解決していく学習活動。 	1つ書かれていればよい。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	15
	2 地域の活性化を担うよう、観光ビジネスについて実践的・体験的に理解し、国内に在住する観光客及び海外からの観光客を対象とした観光ビジネスを展開するために必要な資質・能力。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	10

高等学校商業科採点基準

3枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 (例)		採 点 上 の 注 意	配 点	
3	1	A社	8,000 (円)	全部合っているものだけを正答とする。	10	25
		B社	4,000 (円)			
		C社	4,000 (円)			
		消費者	16,000 (円)			
2	(1)	26,526,786 (円)			5	
	(2)	ア, エ		全部合っているものだけを正答とする。	10	
4	1	オ			10	20
	2	8 (ポイント)			10	
5	1	イ			10	20
	2	ウ			10	
6	1	受取手形	50,000 (円)	全部合っているものだけを正答とする。	10	20
		売掛金	36,000 (円)			
		貸付金	30,000 (円)			
2	4,061,036 (円)			10		
7	1	ウ			10	25
	2	記号	エ	記号と理由がともに合っているものだけを正答とする。 理由は、内容を正しくとらえていれば、表現は異なっていてもよい。	15	
理由	Aさんが示した作成条件の一つに、「パソコン購入時は、周辺装置を含めた一式を単位として台帳に登録する。」とあり、周辺装置とパソコンをセットで購入した場合、管理番号が一つになってしまい、周辺装置を含むすべての機器が管理台帳と照合できなくなる可能性がある。そのため、周辺装置とパソコンをセットで購入した場合においても、それぞれに管理番号を付与し、すべての機器が管理台帳と照合できるようにすることが望ましいと考えられるため。					

高等学校商業科採点基準

3枚のうち3

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 〔例〕	採 点 上 の 注 意	配 点
8	<p>資料Ⅰにおける「高齢者に対応した取組」及び「観光客を取り込む取組」の充実を図りたいとの回答から、商店街は時代のニーズをとらえた取組の充実を図りたいと考えていることが分かる。また、「地域の核としての魅力を高める取組」や「子育てを応援する取組」の充実を図りたいとの回答から、地域に根ざした商店街でありたいとの思いがうかがえる。</p> <p>一方、資料Ⅱにおける「経営者の高齢化による後継者問題」に対する回答が6割を越えていることから、後継者問題が商店街にとって深刻なものであることが分かる。さらに「店舗の老朽化」や「集客力が高い・話題性のある店舗・業種が少ない又は無い」との回答も上位であることから、商店街の集客力が低下し、店舗の老朽化が進むとともに、後継者不足に陥っている現状がうかがえる。</p> <p>資料Ⅰにみられる展望を踏まえた上で、こうした問題を解決していくためには、来街者のニーズを的確に把握することが必要であると考えられるが、資料Ⅲから分かるとおり、76.6%が「来街者のニーズを把握する調査を実施していない」と回答していることから、来街者のニーズを的確に把握するための取組が十分に行われていないことが分かる。</p> <p>そのため、来街者のニーズを把握するための調査を実施することによって、来街者のニーズに応じたイベントを実施したり、ターゲットとする客層を意識した店舗構成の見直しを行ったりすることで、時代のニーズをとらえた地域の核としての商店街の魅力がさらに高まると考える。</p>	<p>問いを正しくとらえていれば、内容は異なっていない。</p>	20